



## 「社会を明るくする運動」住民集会が開かれる

「第71回古牧地区社会を明るくする運動」の住民集会が10月23日(土)に古牧公民館集會室で開催されました。参加者は古牧住自協会長、副会長、各地区区長、保護司、更生保護女性会、関係団体の皆さんです。

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちに更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

講演は「保護司の活動について」というテーマで、講師は長野保護観察所の小川美菜子主任保護観察官でした。長野県(R3.5.20現在)の保護司は定員1015人、現員949人(男703人、女246人)です。保護司の職務は、国家公務員である保護観察官と民間篤志家である保護司の協働により、犯罪や非行を犯した人が更生

するよう  
実社会の  
中で指導  
監督や補  
導援護等  
を行って  
います。  
保護観察



では、決められた約束事(遵守事項)を守ることが義務付けられており、定期的な面接等を通じて生活状況の把握を行っています。

新型コロナウイルスとの闘いが続く中で、望まない孤独や社会的孤立など私たちが直面する困難を克服していくためには、お互いに支えあう人と人の絆や、他の人の苦しみにも我が事として救いの手を差しのべるコミュニティの存在が大切であると強く感じました。(総務部)

## あっ、危ない! 夜の歩行者、見えません

10月5日(火)古牧地区民生児童委員協議会の高齢者福祉部会主催による高齢者の交通安全のための「ナイトスクール」が長野運輸支局の構内駐車場で開かれました。高齢者の歩行中の事故が多く、特に夜間は危険です。車から歩行者が見えにくい薄暮(午後5時45分)から夜間に行われた体験型学習会。今回2回目の開催で20人が参加しました。



車が時速50kmの速度で近づいてくる想定の中、安全に横断歩道を渡れるか

どうかを体験。車のライトは縦方向から見ると実際の速度に比べ遅く感じるので注意したいです。

車のヘッドライトで見えやすい色も確認しました。反射材など歩行者が自身の存在を知らせるグッズが紹介されました。グッズを組み合わせることで身体の前左右どちらからでも確認されるようにすることが効果的です。

交通事故件数の割合は昼間が70%、夜間が30%とのこと。夜間は重大事故が多いといえます。この「ナイトスクール」が事故件数の減少にいかされればと思います。

開催にあたり中央警察署の警察官6名の方々に感謝申し上げます。

(古牧地区民生児童委員協議会・交通安全部)

今も息づく南高田の文化遺産『毘沙門天』

古牧郷土史研究会 清水 邦明

今ではインター線の脇道になってしまいましたが、かつての南高田メインストリートの街道筋、丁度その真ん中あたりに地域の人々から「毘沙門さん」と慕われているお堂があります。そのお堂の御本尊が毘沙門天です。

実はこのお堂こそが、現在の私ども南高田区民にとってはなくてはならない地域行政、文化活動の拠点である公会堂、公民館でもあります。

2012年刊行された郷土史「南高田伝統文化誌」によると「このご本尊は奈良時代の有名な仏師の作で、国の重要文化財に指定されても不思議ではない尊い仏像と伝えられています。重要文化財にならなかった理由は専門家の調査では胴体と頭に違和感があるようです。又、専門家の調査によ

ると、この仏像の構造は乾漆で出来ており天平の頃の作と判明しています。」と記されています。

この由緒ある御本尊の眼前で今でも、私たち区民が日々の暮らし、これからの在り方を日夜分かつた論議し交流させて頂いているのですから、本当に有り難いことです。毘沙門天様が区民の暮らし、行く末をあの大きな目を見開いてじっと見守って下さっているような気さえます。まさに今も息づく南高田区民の大切な文化遺産です。



娑婆鉛筆

スポーツ観戦

私は毎年必ず行くスポーツ観戦が二つあります。コロナ感染拡大で昨年・今年と二年連続行けませんでした。一つはモータースポーツ観戦。三重県の鈴鹿で開催の『自動車フォーミュラ1世界選手権』。30年近く毎年観戦に行っていましたが、世界中各国から人が集まるため、10月の日本開催はとて無理だったと思います。一時、毎年海外観戦も行くほど夢中になっていた時期もあり、二年連続中止はとて残念でした。

もう一つは『女子プロゴルフツアー観戦』。10年位前からゴルフもしないのに、なぜかハマってしまいました。長野・新潟・山梨など近隣県の開催にしか行かれませんが、テレビに映る

女子プロゴルファーを目の前・間近で見れ、とても興奮(?)しています。これも昨年・今年と無観客試合での実施。唯一年間の自分のお出かけツアーが二年連続無くなってしまいました。まったく『コロナの奴は…』って怒ってもしようがないですね。

このところ、コロナ感染者数がだいぶ取まってきて野球・サッカー等が観戦者数増で開催され始めています。感染防止をはかりコロナ感染以前のように戻ってくるといいですね。

そうそう、今年二年ぶりに『長野えびす講』の花火大会、開催するようですね楽しみにしています。いつまでもコロナに負けず、皆さんも感染対策をしっかりと、このところ出来なかった『自分の行事』を実行してみませんか。(大日方 広一)

11月から12月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和3年10月1日現在

11,729世帯

(男 13,169人

26,697人

女 13,528人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
(電話259-8359・FAX219-1057)  
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 児嶋 孝
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP  
ご覧ください